【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【公表番号】特表2009-511577(P2009-511577A)
【公表日】平成21年3月19日(2009.3.19)
【年通号数】公開・登録公報2009-011
【出願番号】特願2008-535506(P2008-535506)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/575　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/08　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/36　　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/26　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 1/04　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 1/16　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 3/06　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/04　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/12　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/10　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/14　　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/16　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/575
Ａ６１Ｋ　 9/08
Ａ６１Ｋ　47/36
Ａ６１Ｋ　47/26
Ａ６１Ｐ　 1/04
Ａ６１Ｐ　43/00　　１２１
Ａ６１Ｐ　 1/16
Ａ６１Ｐ　 3/06
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　29/00
Ａ６１Ｐ　31/04
Ａ６１Ｐ　31/12
Ａ６１Ｐ　31/10
Ａ６１Ｐ　31/14
Ａ６１Ｐ　31/16

【手続補正書】
【提出日】平成21年3月9日(2009.3.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】

組成物の少なくとも１つの胃腸への有害な作用を、哺乳動物において改善または解消する、沈殿または粒子を実質的に含まない水溶液であって、

（ａ）胆汁酸、胆汁酸の水溶性誘導体、胆汁酸塩、およびアミド連結によりアミンと共役した胆汁酸から成る群から選択される第１の物質と、

（ｂ）水溶性澱粉変換産物または水溶性非澱粉多糖類から成る群から選択される糖質と、

（ｃ）水と、を含み、

前記第１の物質と前記糖質との双方が、水系で得られるあらゆるｐＨ値に対し溶液のままで残留する、前記水溶液。

【請求項２】

前記組成物は、アルコール、非ステロイド系抗炎症薬、胃腸刺激性薬剤、およびこれらの組み合わせから成る群から選択される化合物を含む、請求項１に記載の水溶液。

【請求項３】

前記胃腸刺激性薬剤は、抗生物質、副腎皮質ステロイド、抗癌薬、およびこれらの組み合わせから成る群から選択される、請求項２に記載の水溶液。

【請求項４】

前記組成物は、エタノール、アスピリン、メチルサリチレート、ジフルニサル、インドメタシン、スリンダク、ジクロフェナク、イブプロフェン、ケトプロフェン、ナプロキセン、ケトロラク、メフェナム酸、ピロキシカム、メロキシカム、コキシブ系セレコキシブロフェコキシブ、バルデコキシブ、パレコキシブ、エトリコキシブ、ニメスリド、アミノグルテチミド、アナストロゾール、ビカルタミド、クロラムブシル、シクロホスファミド、シタラビン、ジエチルジチオカルバメート、ダカルバジン、フルタミド、レトロゾール、ロムスチン、メルカプトプリン、メトトレキセート、ニルタミド、プリカマイシン、塩酸プロカルバジン、タクロリムス水和物、コルチゾール、コルチゾン、プレドニゾン、プレドニゾロン、メチルプレドニゾロン、トリアムシノロン、フルプレドニゾロン、ベタメタゾン、デキサメタゾン、フルドロコルチゾン、デソキシコルチコステロンアセテート、およびこれらの組み合わせから成る群から選択される化合物を含む、請求項２に記載の水溶液。

【請求項５】

前記組成物は、最大１００％のエタノール（ｗ／ｗ）を含む、請求項４に記載の水溶液。

【請求項６】

前記組成物は、約２０％を超えるエタノール（ｗ／ｗ）を含む、請求項４に記載の水溶液。

【請求項７】

前記組成物は、約２０％未満のエタノール（ｗ／ｗ）を含む、請求項４に記載の水溶液。

【請求項８】

前記対象は哺乳類である、請求項１に記載の水溶液。

【請求項９】

前記対象はヒトである、請求項８に記載の水溶液。

【請求項１０】

前記第１の物質は、治療に有効な量で存在する、請求項１に記載の水溶液。

【請求項１１】

前記第１の物質は、ケノデオキシコール酸、コール酸、ヒオデオキシコール酸、デオキシコール酸、７－オキソリトコール酸、リトコール酸、ヨードデオキシコール酸、イオコール酸、タウロウルソデオキシコール酸、タウロケノデオキシコール酸、タウロデオキシコール酸、グリコウルソデオキシコール酸、タウロコール酸、グリココール酸、これらのステロイド核のヒドロキシルまたはカルボン酸基誘導体、これらの塩、またはこれらのアミンとの抱合体から成る群から選択される、請求項１に記載の水溶液。

【請求項１２】
前記水溶性澱粉変換産物は、マルトデキストリン、デキストリン、液体グルコース、固形コーンシロップ、および可溶性澱粉から成る群から選択される、請求項１に記載の水溶液。
【請求項１３】
前記ｐＨは、約１～約１０である、請求項１に記載の水溶液。
【請求項１４】
前記第１の物質は、ウルソデオキシコール酸またはウルソデオキシコール酸のナトリウム塩である、請求項１に記載の水溶液。
【請求項１５】
前記水溶性澱粉変換産物は、マルトデキストリンを含む、請求項１に記載の水溶液。
【請求項１６】
前記水溶性澱粉変換産物は、固形コーンシロップを含む、請求項１に記載の水溶液。
【請求項１７】
前記水溶性非澱粉多糖類は、デキストラン、グアーガム、ペクチン、難消化性可溶性繊維から成る群から選択される、請求項１に記載の水溶液。
【請求項１８】
前記胃腸への有害な作用は、前記胃十二指腸への有害作用を含む、請求項１に記載の水溶液。
【請求項１９】
前記胃腸への有害な作用は、胃十二指腸粘膜の細胞死、胃腸のネクローシス、胃腸のアポトーシス、胃十二指腸粘膜病変、胃十二指腸粘膜びらん、胃十二指腸潰瘍、胃腸癌、胃腸出血、上腹部痛、胃炎、胃腸の発赤、胃腸の浮腫、およびこれらの組み合わせから成る群から選択される作用を含む、請求項１に記載の水溶液。